


## 令和元年度 実施事業の概要

教育事業名: 妙高自然体験活動指導者養成研修 合同スキルアップ研修
期間 令和元年6月22日(土)～23日(日)
対象及び参加人数: 大学生 学校教員 その他 参加人数: 19名
目的: <ul style="list-style-type: none"><li>・自然体験活動の指導者として幅広い知識と技術をもち活躍できる人材の育成</li><li>・妙高のフィールドや身近なフィールドでの自然体験活動指導者の育成</li><li>・自然体験活動指導者としてのスキルアップと資質の向上</li></ul>
事業概要: <p>1日目に指導者養成事業共通カリキュラム理論編を行い、指導者としての基礎知識や学校での教育事情を学んだ。2日目は、午前に実技演習①: 妙高の自然と「学ぶ・遊ぶ」、午後に実技演習②: 妙高アドベンチャー・源流探検を行い、互いの知識や技術を披露しながら、研鑽を積んだ。</p>
成果: <p>指導者養成事業共通カリキュラム理論編では、「妙高の自然体験活動の概要」「指導者としての心得」「子供たちへの接し方」「妙高自然体験活動の安全管理」「子供たちは今どのように学んでいるか」について講義を行ったことにより、学習指導要領との関わりや教育施策など、最新の情報を共有することができた。また、指導員としての指導法の基礎部分を共通理解する場となった。</p> <p>実技演習①では、草花遊びやアイスブレイクの実践を通して、指導員と子供たち・子供たち同士の距離が近くなり活発な話し合いが形成されていくことなどを実感することができた。</p> <p>また、実技演習②では、互いの引き出しや技能を披露しあったり、日頃の悩みや苦勞などを共有し合ったりする良い機会となった。</p>

課題: <p>指導員の高齢化が進んでおり、若手の育成にも目を向けていく必要がある。 方策を考え、若年層の参加を増やしていきたい。</p>